

<教室開設にあたって>

今や英語は世界共通言語となりました。しかし、この国では一体いつまで“英語が苦手”だと言いつけるのでしょうか。一体いつまで“英語が話せたらカッコいい”と言いつけるのでしょうか。

海外に目を向けると、同じアジア圏の国々の若者たちでさえ私たち日本人がいつまでも英語を苦手としている間に、当たり前のように英語が話せるようになってしまい、日本人だけすっかり取り残されてしまいました。

多くの日本人が英語を話せるようになる前に、英語が話せるロボットや翻訳機を先に作られてしまうのではないかと。しかし果たしてそれで良いのでしょうか。

文部科学省は東京オリンピックが開催される2020年より小学校三年生から英語を必須化とし、小学校5年生から教科化することを決定しました。そもそもそれではオリンピックには間に合わないのですが、それはさておき、果たしてこれで英語が話せるようになるのでしょうか。これまで中学から高校まで6年間も勉強したにも関わらず何一つまともに話せないでいるのに？

私は高校を卒業して、アメリカへ単身留学しました。その5年間の留学経験から言えることは、言葉は使わなければ話せるようにならないということです。また、文法はもちろん大事ですが、それよりも「思い切って話すこと」が日本人には必要です。間違ふ勇気を持つことです。正しい文法は中学に入れば嫌でも勉強させられます。ですから、小学校のうちはとにかくたくさん英語を浴びて欲しいと思います。

私たちの教室のネイティブスピーカーの先生たちはこの考えに賛同しており、みな同じ理念を共有しています。

とにかく子供たちが恐れず英語とぶつかる力は子供たちに自信を生み出します。

“英語は楽しい=英語が好き”となり、成長するにつれ、より理解を深めるでしょう。そして、この教室での経験は、将来世界に出た時、

国際人として世界中の文化や言語の違う様々な国の人たちとコミュニケーション出来る力となります。悲しいことに、現在進行形で世界中で争いは絶えることなく混沌としていますが、英語という世界の共通言語で他者とコミュニケーションできる力をもって、相手の話を聞き、自分と違うものを受け入れた上で、自分の言葉で自分の考えを話せることが世界平和につながっていくと信じています。その力を今の子供たちに身につけて欲しい。私たちは子供たちが自分自身の力で明るい未来を切り開き、築き上げていくことを心より願っています。

英語教室監修 廣幸 愛

